平成 24 年３月 23 日

各　位

会社名　　株式会社スクロール
代表者名　　取締役社長　堀田　守
（コード番号　　8005　）
問合せ先　　取締役常務執行役員　長田　隆利
（TEL　　053-464-1114　）

特別利益及び特別損失の計上
並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成24年３月期決算におきまして、下記のとおり、特別利益及び特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

また、本件処理に伴い、平成23年10月27日に公表しました平成24年３月期通期業績予想の修正を行いましたので、併せてお知らせいたします。

記

Ⅰ　特別利益及び特別損失の計上について

１．システム開発契約解約に伴う特別損失の計上について

（１）損失の概要及び経緯

当社は、平成 20 年４月より通信販売業に係る情報処理能力向上のためのシステム再構築を進めてまいりましたが、現在の開発ベンダーではその実現の可能性が低く、開発の継続が困難な状態となりました。

その結果、当該ベンダーとのシステム開発契約を解約し、既にソフトウェア仮勘定に計上した 206 百万円は減損損失として、前渡金に計上した 450 百万円は貸倒引当金繰入額として、平成 24 年３月期に係る連結及び個別財務諸表に計上することといたしました。

（２）今後の開発見通しについて

新システムの稼動は、平成 24 年９月を予定しておりましたが、現在、開発ベンダーの再選定を含め、完了予定年月の延長や開発規模及び費用等も含めて開発計画全体の見直しを行っております。

２．たな卸資産処分による特別損失の計上について

当社の連結子会社である株式会社イノベートが、当社の連結子会社となる以前に、旧経営陣が薬事法違反により取得したたな卸資産に関して、当該たな卸資産の処分を決定いたしました。

その結果、たな卸資産処分損 545 百万円を平成 24 年３月期に係る連結財務諸表に計上することといたしました。

３．連結子会社株式の減損処理による特別損失の計上について

上記、たな卸資産処分損の計上を受け、連結子会社である株式会社イノベートの業績見通しの再評価を行った結果、同社株式に対する関係会社株式評価損 365 百万円を平成 24 年３月期に係る個別財務諸表に計上することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

４． 損害賠償請求に伴う特別利益の計上について

旧株式会社イノベート経営陣に対して行っている損害賠償請求額の一部と、未払いの同社株式譲受代金債務を相殺したことにより受取補償金として 237 百万円を平成 24 年３月期に係る連結及び個別財務諸表に計上することといたしました。

Ⅱ 業績予想の修正について

１．連結業績予想の修正について

平成 24 年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成 23 年４月１日～平成 24 年３月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 60,000	百万円 1,900	百万円 2,200	百万円 1,300	円銭 39.29
今回修正予想(B)	60,000	1,900	2,200	480	14.51
増減額(B-A)	－	－	－	▲820	－
増減率(%)	－	－	－	▲63.1	－
(ご参考)前期実績 (平成 23 年３月期)	56,460	1,607	1,828	382	12.16

２．個別業績予想の修正について

平成 24 年３月期通期個別業績予想数値の修正（平成 23 年４月１日～平成 24 年３月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 48,500	百万円 1,000	百万円 1,600	百万円 1,000	円銭 30.22
今回修正予想(B)	48,500	1,000	1,600	350	10.58
増減額(B-A)	－	－	－	▲650	－
増減率(%)	－	－	－	▲65.0	－
(ご参考)前期実績 (平成 23 年３月期)	45,529	896	1,482	112	3.59

３．修正の理由

連結及び個別業績予想につきましては、経営環境が東日本大震災以前の水準まで回復しつつあり、販売費及び一般管理費削減の徹底により、売上高、営業利益及び経常利益はほぼ予想通りに推移しておりますので、前回予想を据え置くことといたしますが、当期純利益につきましては、上記「Ⅰ 特別利益及び特別損失の計上について」の事象等を踏まえ、前回予想を下回る見通しとなりました。

※ 上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上